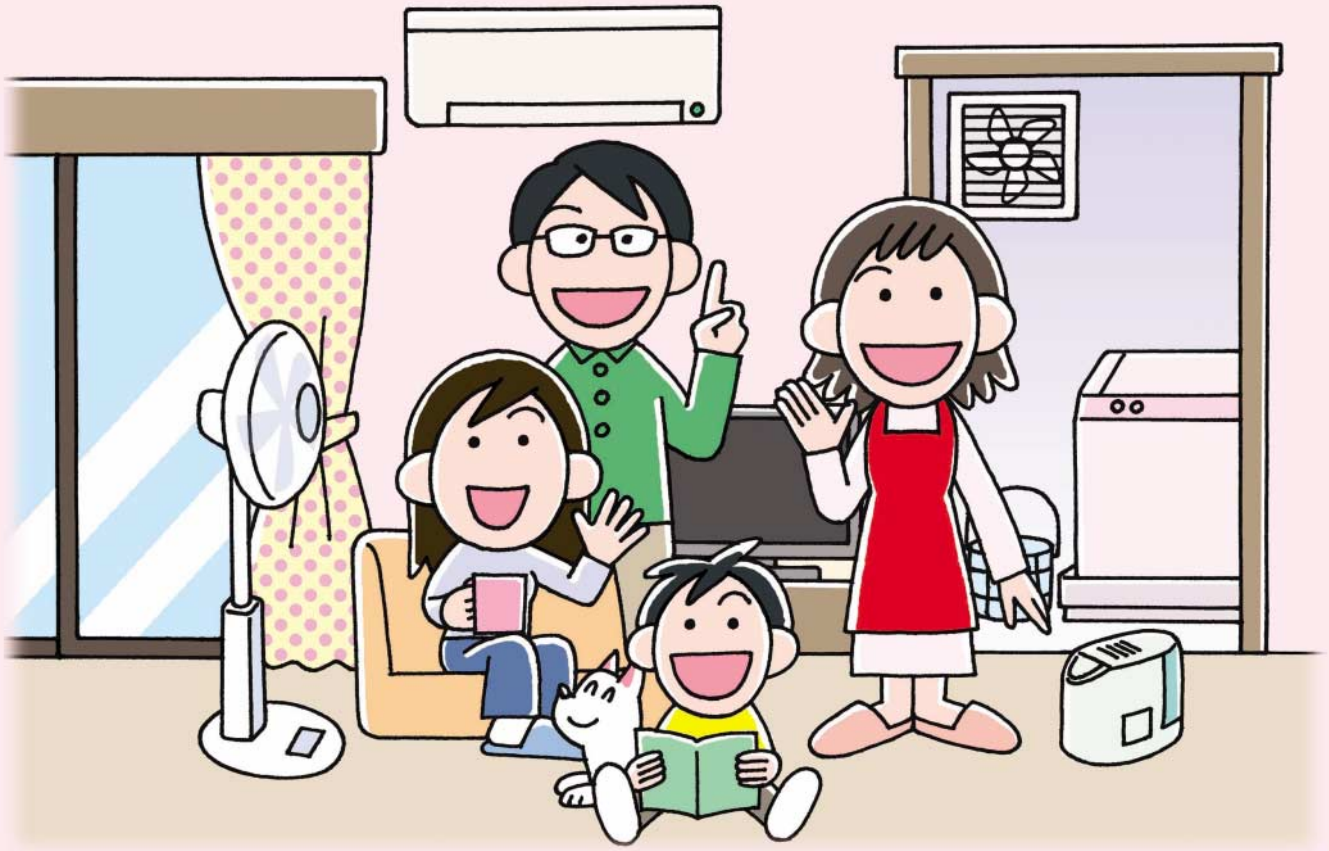
保存版

安全のために
ぜひ知っておきたい

家電品を安全に使うためのマーク



知っておきたい3つのマーク

注意マーク	禁止マーク	指示マーク
注意すること	してはいけないこと	必ず行うこと

次の3種類の表示を無視して誤った使い方をするとケガや火災などになることがあります。
危害・損害の程度を3つに分けて表示しています。

危険

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷に結びつくもの。

警告

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷に結びつく
可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、
傷害または家屋・家財などの
損害に結びつくもの。

一般財団法人 家電製品協会

家電品を安全に使うためのマークとその意味

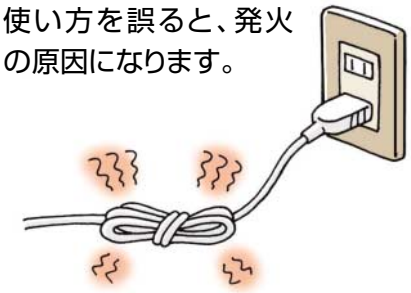
家電製品の本体や取扱説明書にある、
警告図記号（マーク）や説明文などをよく読んで、正しくお使いください。

注意マーク

製品の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するマーク。

発火注意

使い方を誤ると、発火の原因になります。



破裂注意

使い方を誤ると、破裂の原因になります。

感電注意

分解したり、水をかけると、感電の原因になります。

高温注意

高温になる部分があり、触ると火傷の原因になります。

回転物注意

モーターやファンなど、回転する部分があり、フタやカバーを開けるとケガの原因になります。

指のケガに注意

使い方を誤ると、指のケガの原因になります。

手を挟まれないよう注意

うっかりすると、ドアー、挿入口などで手を挟まれ、ケガの原因になります。

指を挟まれないよう注意

ドアー、挿入口などで、指を挟まれ、ケガの原因になります。

禁止マーク

製品の取扱いにおいて、
その行為を禁止するマーク。

火気禁止

火気を近づけてはいけません。製品が発火する原因になります。

接触禁止

触ってはいけません。ケガ・火傷の原因になります。

風呂、シャワー室での使用禁止

防水型ではないので、風呂場などで使ってはいけません。漏電によって、感電や発火の原因になります。

分解禁止

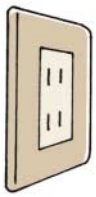
製品を分解してはいけません。感電やケガの原因になります。

水ぬれ禁止

雨水のかかるところで、使ってはいけません。漏電によって、感電や発火の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で製品を触ってはいけません。感電の原因になります。



指示マーク

製品の取扱いにおいて、
指示に基づく行為を強制するマーク。

電源プラグを抜け

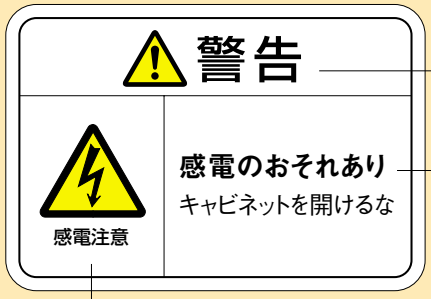
電源プラグをコンセントから抜いてください。

アース接続

安全アース端子付きの製品の場合、アース線を必ず接続してください。

製品本体の警告表示

使うときに必ず避けること、守ることを
右のように表示してあります。
マークの意味は2～3ページを
ご覧ください。



危害、損害の**程度**を表します。

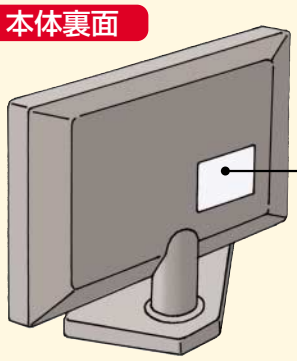
説明文
危害、損害の内容
回避方法、応急処置
などを表します。

注意マーク
発火、破裂、高温など、危害、損害の**種類**を表します。

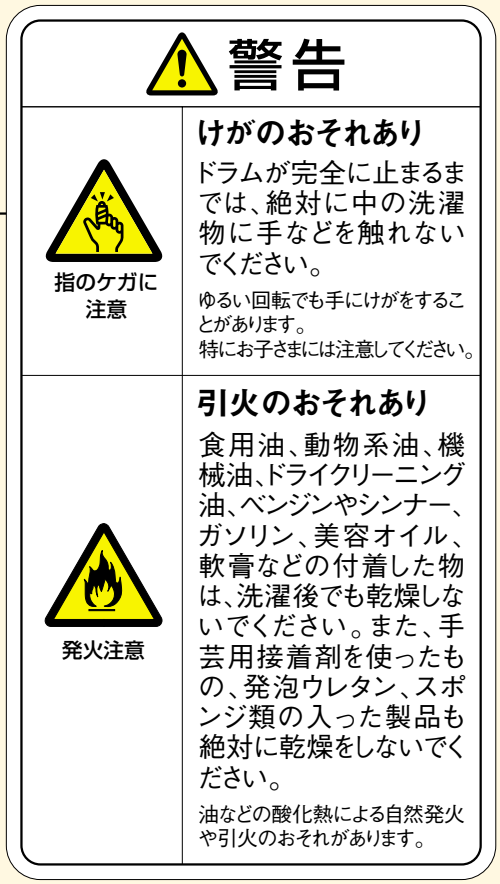
●掲載した例は実際の文字の大きさと異なります。

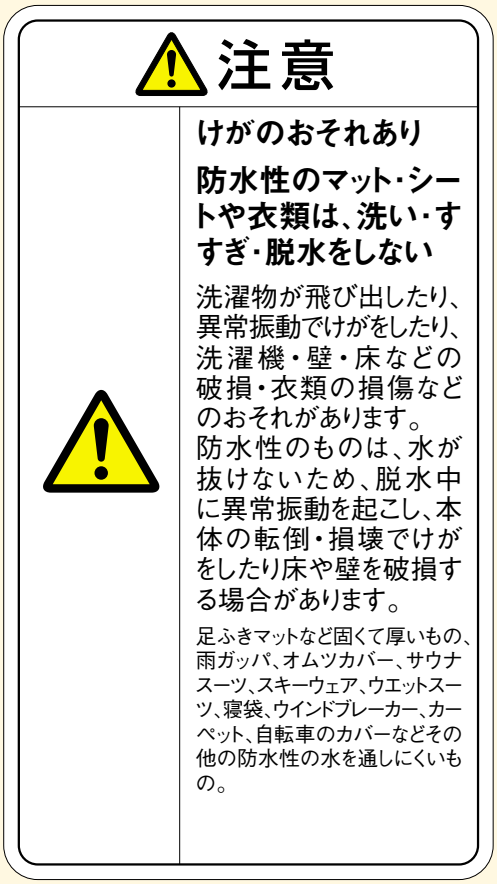
表示の例と表示位置

〈薄型テレビ〉 本体裏面

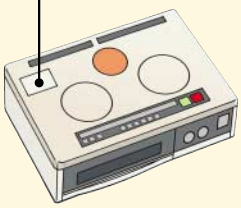


〈洗濯機・洗濯乾燥機〉
本体上面や正面





〈IHクッキングヒーター〉 本体上面



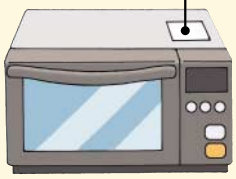
警告

火災のおそれあり

揚げもの調理をするときは

揚げものキーを使う。
鍋は付属の天ぷらなべを使う。
底が変形していない平らな鍋を使う。
500g（0.56L）未満の油では調理しない。
そばを離れない。
鍋はヒーターの中央に置く。

〈電子レンジ〉 本体上面や正面



注意

発煙・発火や火花の出るおそれあり

庫内や付属品に食品カスなどがついたまま加熱しない。

〈ジャー炊飯器〉 蒸気口の近く

警告

高温注意

やけどのおそれあり

炊飯中や直後は蒸気口に手を触れない。

炊飯中や炊飯直後は高温になっていますので手や顔を近づけないでください。

〈加湿器〉 本体上面や裏面

警告

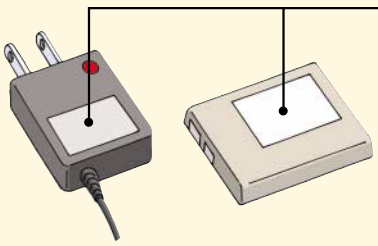
高温注意

やけどのおそれあり

乳幼児や自分で操作できない方などが使用されるときは、特に注意する。

〈ACアダプター・充電器・バッテリー〉

本体表面



危険

漏液、発熱、破裂のおそれあり

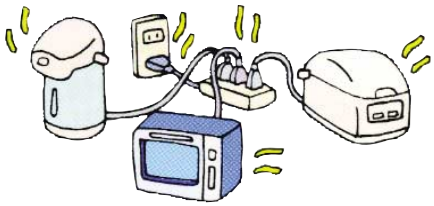
専用充電器以外で充電しないこと。
火中投下・電子レンジなどで加熱しないこと。
ショート・分解をしないこと。
海水などで濡れたバッテリーを使用しないこと。

発熱、発火、破裂のおそれあり

火中投入、過熱、分解、ショートなどしないこと。
高温場所(60℃以上)で使用、放置しないこと。
専用充電器以外または指定以外の方法で充電しないこと。

電源コード・プラグについてのご注意

現在ご使用中の家電製品の電源コードや電源プラグが、次のようになっていませんか。このような使用を続けると火災や、感電のおそれがあります。すぐに点検してみましょう。



- テーブルタップの容量は十分ですか?
- たこ足配線になっていませんか?
- コードが物の下敷きになっていませんか?
- コードを壁や床に釘などで固定していませんか?
- 余ったコードを束ねていませんか?
- コードやプラグが触れないほど熱くなっていませんか?
- プラグにほこりがたまっていませんか?

普段から以下の点に注意して、電源コード・プラグを傷めないようにしましょう。

- コンセントから電源プラグを抜く時は、電源プラグを持って抜いてください。また、差し込む時は、キチンと根元まで 差し込んでください 。
- エアコン、冷蔵庫、テレビなど、長時間電源プラグが差したままの状態になっていて、ほこりや湿気が付着している場合は、乾いた布でプラグのほこりを清掃してください 。
- ジャーポット、加湿器などのマグネットプラグやプラグ受けにほこりやごみ、ピンなどが付着している場合は、取り除いてください。
- コンセントへの電源プラグの差し込み状態がゆるく、ガタついている時は、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、購入した家電販売店にプラグ及びコンセントの点検をご相談ください。

取扱説明書の警告表示

使うときに人への危害や財産への損害を未然に防止するため、右のように表示してあります。
マークの意味は2～3ページをご覧ください。

●掲載した例は実際の文字の大きさと異なります。

説明文
危害・損害の内容、回避方法、応急処置などを表します。

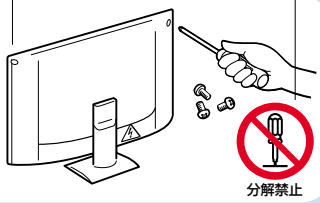
イラスト
危害・損害の内容や回避方法をわかりやすく表します。

警告図記号（マーク）
接触禁止、火気禁止、守ること、高温注意など、危害・損害の種類を表します。

分解改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。



表示の例

下記は、洗濯乾燥機の取扱説明書での「安全上のご注意」の一例です。

見出しは「安全上のご注意　必ずお守りください」などで表し、警告表示の趣旨や表記方法を説明しています。

危害・損害の程度の高い順にくくって表し、⚠危険、⚠警告、⚠注意の見出しを付けて表します。

安全上のご注意 必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 図記号の意味は次のとおりです。

		（洗濯乾燥機の上にある表示）
おこなわない。	分解・修理・改造はしない。	感電注意
触れない。	必ず指示に従い、おこなう。	指のケガに注意
風呂、シャワーなど水場では使用しない。	必ずアース線を取り付ける。	発火注意
水をかけない。	必ず電源プラグをコンセントから抜く。	注意

⚠警告

洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは中の洗濯物などに手などを触れない

特にお子様にはご注意を。
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きつき、けがの原因になります。

幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない

洗濯乾燥機の近くに台などを置かない。

槽内に落ちてけがをしたり、おぼれる原因になります。
ペットなどの動物にも注意してください。

本体各部に水をかけない

感電・ショートの原因になります。

浴室など湿気の多い場所に据え付けない

漏電による火災や感電の原因になります。

風雨にさらされる場所に据え付けない

漏電による火災や感電の原因になります。

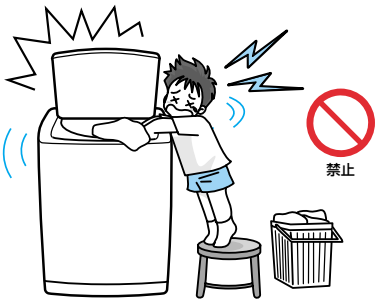
食用油、動物系油、機械油、美容オイル（エステ系ボディオイルなど）、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリンなどの付着した衣類は洗濯後でも乾燥しない

油などの酸化熱による引火や自然発火の原因になります。

注意

子供だけで使わせない

やけどや、
けがの原因になります。



防水性のシートや衣類は、洗い・すすぎ・脱水をしない

脱水中に激しい振動や転倒によって、
けが、洗濯乾燥機・壁・床などの損壊、
洗濯物の損傷、水もれ被害などの
おそれがあります。

（寝袋、おむつカバー、サウナスーツ、
ウェットスーツ、雨ガッパ、自転車・バイク・自動車のカバー、
スキーウェアー、ダウンジャケット、防水シート、マットなど）

洗濯前は必ず水道栓を開いて水もれがないか確認する

ねじがゆるんだり、ホースの
接続が悪いと水もれして
床をぬらすおそれがあります。

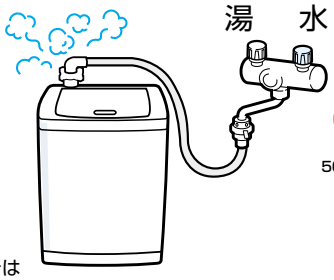
電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを持って引き抜くと、
感電・ショート・発火の原因に
なります。

長時間使わないときは電源プラグを抜く

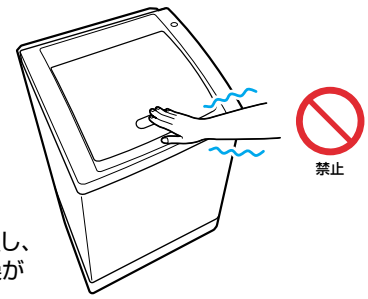
50℃以上のお湯は使わない

プラスチック部分の
変形や傷みにより、
感電や漏電の原因に
なります。



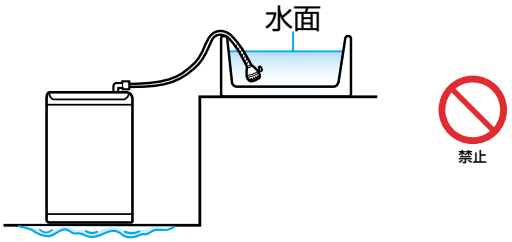
給湯器などを使用するときは
温度に注意してください。

ロックされた状態のふたを無理に開けない



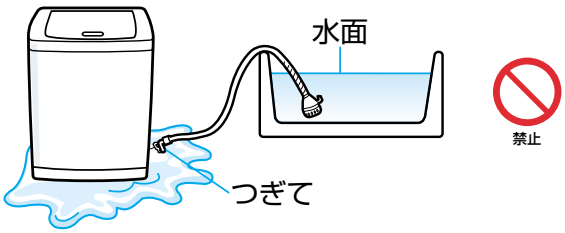
ふたやロック機構が破損し、
けがをしたり、洗濯・乾燥が
できなくなります。

「ふろ水」は浴槽の水面が洗濯乾燥機より高い場合は使用しない



運転が終わってもサイホン現象により水が出続け、
床をぬらすおそれがあります。

ふろ水ホースのつぎてを洗濯乾燥機からはずした後、浴槽の水面よりもつぎてを下げない



床をぬらすおそれがあります。

取扱説明書について

家電製品の取扱説明書には「正しい操作方法」「上手な使い方」「使用上の注意」「故障の見分け方」「安全に関する注意事項」などが記載されていますので、ご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

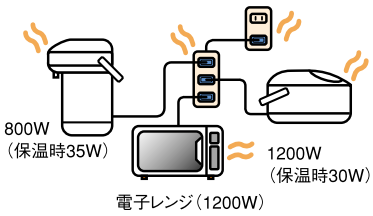
- ●疑問を感じたら、もう一度よく読んで確認した後、製品をご使用ください。
- ●必要な時に誰でも取り出せるように保管してください。
- ●季節製品の再設置、取扱いについては、再度お読みいただき、ご使用ください。

家電製品の愛情点検チェック…まずはご自分で点検を

薄型テレビ
（液晶テレビ・プラズマテレビ）
お宅ではこのようなことが起きていませんか？

- ☐ 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ☐ 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ☐ 内部に水や異物が入った。
- ☐ 万一の地震等に備え、転倒防止処置（テレビ台、壁や柱への固定）をしていない。

●テーブルタップの容量は十分ですか？



電流容量をこえている

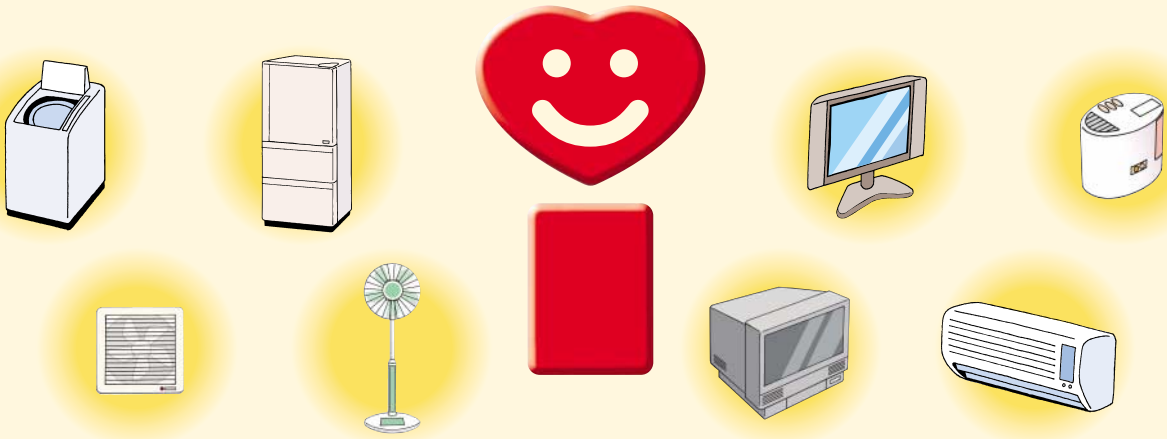
家電製品の愛情点検チェックは、下記のURLへアクセスしてご活用ください。
URL:http://www.aeha.or.jp/information/safety/pdf/aijyo.pdf

定期（節目）点検　節目には販売店による点検を

長い間働いている家電製品も成人病検診のように節目、節目に販売店による点検を受けましょう。
例えば、購入後5年経った時などに、購入した販売店に点検を依頼するといいでしょう。
なお、電気温水器など工事を伴う製品については、保守(メンテナンス)契約による点検もありますので、ご活用ください。

家電メーカーのホームページによる「お知らせアイコン」

重要なお知らせの窓口です。



メーカー各社のホームページをご覧ください。
事故情報（点検・修理・回収等のお知らせ）や製品に関する重要な情報が掲載されています。

「品質の不具合」や「安全にお使いいただくための大切なお願い」などを掲載している場合もあります。

〒100-0013
東京都千代田区霞が関三丁目7番1号 霞が関東急ビル5階
一般財団法人 家電製品協会
TEL:03-6741-5600(代) FAX:03-3595-0761
ホームページアドレス URL http://www.aeha.or.jp/